

雷鳴抄

2025.8.8

「なんでやねん」
と言えば、漫才のボ
ケに対するツツコミ
の定番のせりふであ
る。神戸市内で1日、

地元の高校の公開授業が行われ
た。テーマは「新聞に「ツツコ
ミ」を」▼新聞がボケているわ
けではない。記事をただ「読む」
のではなく、生徒自身の視点か
ら「問う」のである。新聞を活
用した教育について考えるNIE
全国大会神戸大会の会場で参
観した▼ある生徒は、7月の参
院選の記事にあった参政党の
「日本人ファースト」との主張
に「外国人は優遇されている。
もっと日本人のためにお金を使
ってほしい」と感じたと話した
▼栃木県から参加した元作新大

特任教授で日本新聞協会NIE
アドバイザーの木村直人さん
(71)が、生徒に尋ねた。「米
国のように、大学から留学生を
追い出すようなことになったら
?」。生徒は、はっとした表情
を浮かべ「それは違う」と考え
込んだ▼授業を担当した北神戸
総合高の久保淳平教諭(32)
は「新聞記事は一方通行の教材
ではないはずだ」と語る。社会
の出来事と自分の接点を見いだ
し、問いかけ、他者とつながる。
「なんでやねん」は、そのきつ
かけになる▼関東で言い換える
なら「なんでそうなるの」だろ
うか。往年の人気お笑いコンビ
「コント55号」の決めぜりふだっ
たことを知らない世代にも、対
話のきっかけに試してほしい。